



RRCS

Ready-mixed & Returned Concrete  
Solution Association

# ONSITE WG Technical Information Sheet

## 蔵衛門を活用した受入検査結果の共有と保存

No.121

荷卸し

受入れ

打込み前

打込み

打込み後

生コンシェア

工場帰着



No. 121 蔵衛門を活用した受入検査結果の共有と保存

【概要】

蔵衛門とは工事関係者が写真を起点につながる現場共有アプリケーション。

【内容】

フレッシュコンクリートの受入検査時は、現場監督（コンクリート担当者）が立ち会いのもと試験を行う。万博工事では受入検査ステーションを設置し、複数の工事で行われる受入検査を一か所に集約して行うため、監督や発注者の立ち会いが距離的に困難であるとする。またコンクリート打設前に実施されるフレッシュコンクリート（以下、生コン）の検査管理は、「紙」の書類で行われています。そのため、検査情報をリアルタイムで共有できず、残コン・戻りコンを効率的に別の現場へ転換利用（リロケート）できていません。

『蔵衛門』は工事写真 3.0 の技術で検査書類をデジタル化し、クラウドでリアルタイムに共有することで「余っている生コン」を「必要な現場」で効率良く使用できる（＝戻りコン・残コンが減る）運用を構築します。

工事写真 3.0 に対応した『蔵衛門』の特徴

工事写真 3.0 は、写真のほか場所や工種、材料や設計値、実測値といった「ビジュアル+現場情報（データ）」を記録。台帳の自動作成など省力化から、クラウドにビッグデータとして蓄積、AI と組み合わせることで多角的な参照や分析を実現するなど、大きなポテンシャルを秘めています。工事写真 3.0 は、建設 DX を強力に支える基盤となる技術です。

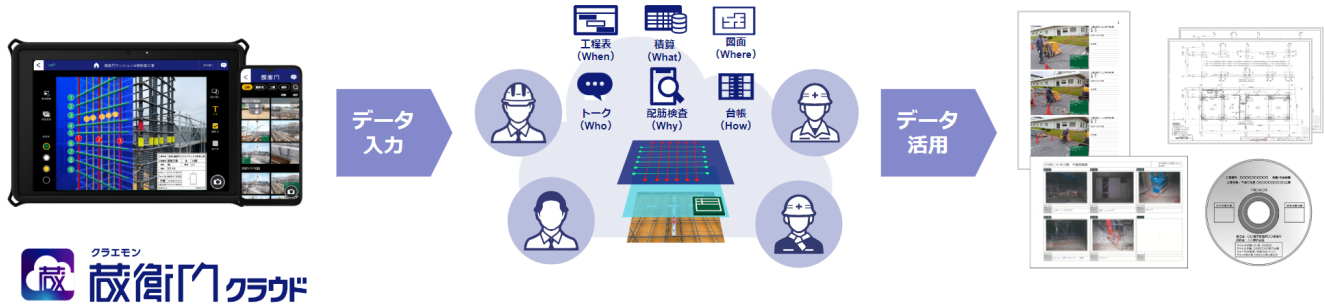


工事写真 3.0 プロダクトとして、『蔵衛門』は施工状況を記録した画像から現場情報を持つビッグデータとして工事写真を利活用。電子小黑板に記載した検査情報は、自動的に検査レポートなどの書類へ転記。AI により工事写真が持つデータを基に写真整理、書類作成の自動化を実現します。撮影後の事務作業を大幅に省力化します。蔵衛門は、iPhone / iPad 用のアプリだけでなく、専用のスマートデバイスを使って現場で黑板を作成、写真を撮影します。現場情報が入った工事写真は、クラウドでメンバーへリアルタイムに共有。事務所のパソコンを使って、各種書類を作成・提出できます。『蔵衛門クラウド』は、1 ユーザー月額 600 円～利用できます。

スマートデバイスで現場情報を入力

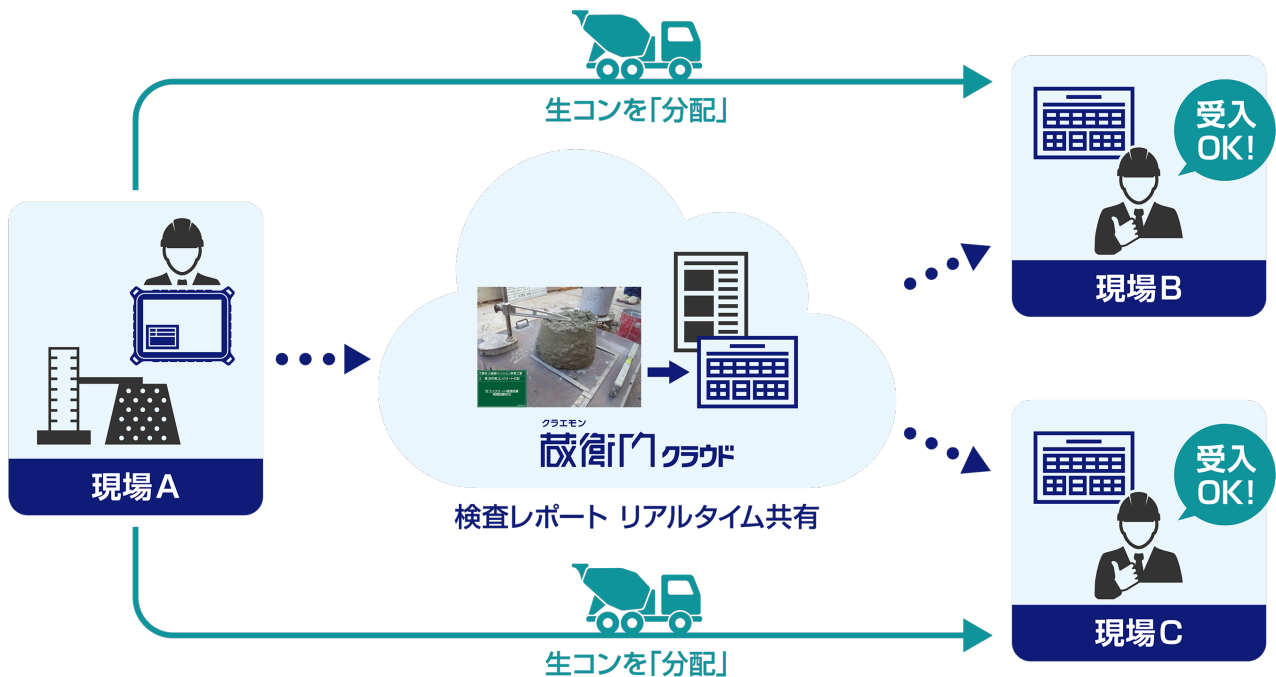
現場情報の共有

あらゆるデータと現場情報が連動



### 電子小黑板とクラウドによる検査データの共有で、残コン・戻りコンをゼロに

新しい「報告管理機能」は、協力会社から作業報告・出退勤・検査報告など各種書類に必要な情報をクラウドに集めることができます。「フレッシュコンクリート試験事報告書」のフォーマットをデジタル化し、PC やタブレットで入力された内容を電子小黑板のデータとして『蔵衛門クラウド』に保存・共有することで、各現場監督は「いつ、どの現場にどれだけの残コン・戻りコンが出ているか」を迅速に把握できます。余剰生コンが発生しても、その情報をリアルタイムに共有することで「今、生コンが必要な現場」へのスピーディーなリロケートが可能です。結果的に、残コンや戻りコンを大きく削減できます。本システムは『蔵衛門クラウド』を利用する各工事または各企業内で利用可能です。そして、将来的には情報の共有範囲を拡大し、建設・土木に関連する企業全体で各現場の生コン使用状況を共有できるシステムを目指します。



#### 【備考】

お問い合わせ：